

科目群	科目区分等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
専門科目	2単位 保育の本質・目的	児童家庭福祉	鈴木 勲	1年次	秋

授業のキーワード	児童家庭福祉の基礎理念、現代社会と子どもを巡る諸問題、児童家庭福祉政策
授業の概要・目的及び修得させる知識・技能	児童家庭福祉の理念や法制度、現場で直面している課題などを取り上げ、保育者として必要となる基礎的事項を学んでいくことを目的としている。
履修のアドバイス・前提科目等	知識の詰め込みではなく、受講者自身が講義により、各自の認識をいかに深めることができているか、という点を重視している。

## 授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	イントロダクション	講義の趣旨説明及びスケジュールの確認を行う。	第9講	保育問題とその制度・政策	保育制度・政策の概要と課題について学ぶ。
第2講	子どもの貧困と子どもの家庭福祉—その理念と概念	子ども家庭福祉の基本的な理念を理解する。	第10講	子育て支援の広がりとその課題	現代社会における子育て支援の現状と課題を学ぶ。
第3講	世界の子どもと日本の子ども	グローバルな視点から子ども家庭福祉の課題を整理する。	第11講	子ども家庭福祉の法制度と行政の仕組み	子ども家庭福祉の法体系や福祉行政の実態を理解する。
第4講	子どもの人権と権利擁護	子どもの人権と権利擁護システムについて学ぶ。	第12講	子ども家庭福祉の行政と実施期間	子ども家庭福祉の行政の仕組みと具体的な実施期間の役割を学ぶ。
第5講	少子化社会と少子化対策・保育政策	少子化の現状や具体的な少子化対策と保育政策について理解する。	第13講	子ども家庭福祉を担う専門職員	子ども家庭福祉の職員に求められる専門性について学ぶ。
第6講	子ども虐待、ドメスティック・バイオレンス	子ども虐待やドメスティック・バイオレンスの急増とその社会的背景を理解する。	第14講	授業のまとめと振り返り	本講義全体のまとめと振り返りを行う。併せて、定期試験もしくはレポート提出についての説明を行う。
第7講	社会的養護体系と子ども家庭福祉の課題	社会的養護問題の歴史的な変遷と今後の課題を学ぶ。	第15講	定期試験もしくはレポートの提出	
第8講	児童福祉施設の役割と機能	児童福祉施設の体系と種類、実践課題などを学ぶ。	評価方法		出席60%、定期試験もしくはレポート40%の配分とする。また、毎講義リアクションペーパーの提出を持って出席とする。
備考 (関連する資格・試験等)		授業展開は予定であり、授業の進度などにより、内容などが変更される場合がある。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
浅井春夫編著『シードブック子ども家庭福祉』建帛社 2011年			随時、授業中に紹介する。		